

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2010年9週 (3月1週3/1~3/7)

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ

RSウイルス感染症

感染性胃腸炎

定点医療機関コメント

インフルエンザ、溶連菌感染症、RSウイルス、マイコプラズマ、感染性胃腸炎 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(29)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、A型肝炎(1)、オウム病(1)、ウイルス性肝炎(1)、急性脳炎(2)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(1)

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

感染性胃腸炎; 津島保健所警報レベル(定点当たり20.0以上)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

## トピックス

### インフルエンザ (図1)

愛知県全体の9週の定点当たり報告数は0.66、前週比0.5倍(総数269人 128人)です。

#### 【参考ページ】

1. オセルタミビル(タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスについて(ネットあいち)  
2010年2月23日発表/2009年12月18日発表  
<http://www.pref.aichi.jp/0000029039.html>
2. 2009/10・2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況  
[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infibunri08\\_09.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infibunri08_09.html)
3. 保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ  
[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)
4. 新型インフルエンザに関する報道発表資料(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/houdou.html>

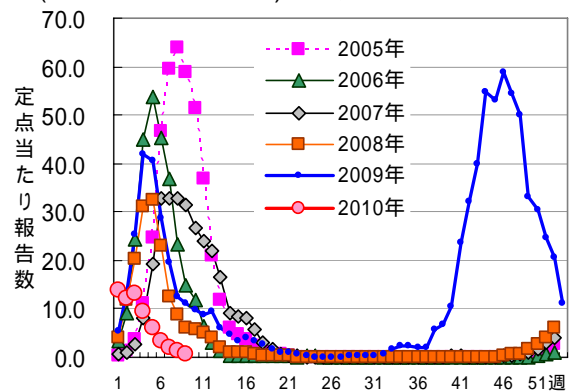


図1 インフルエンザ定点当たり報告数の推移  
[2009年31週から新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告]

### RSウイルス感染症(図2)

9週の定点当たり報告数は0.56、前週比0.8倍(136人 102人)です。

#### 【参考ページ】 RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

### 感染性胃腸炎 (図3)

9週の定点当たり報告数は9.42、前週比1.0倍(1,780人 1,714人)です。

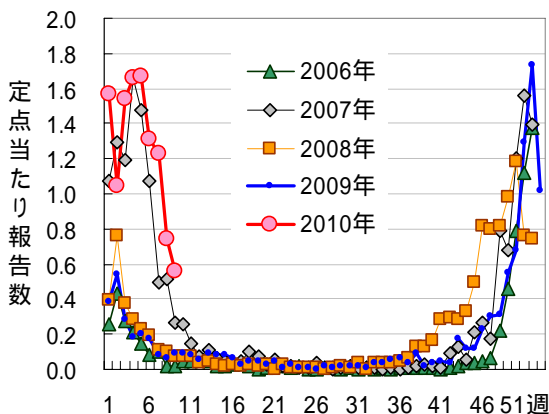


図2 RSウイルス感染症

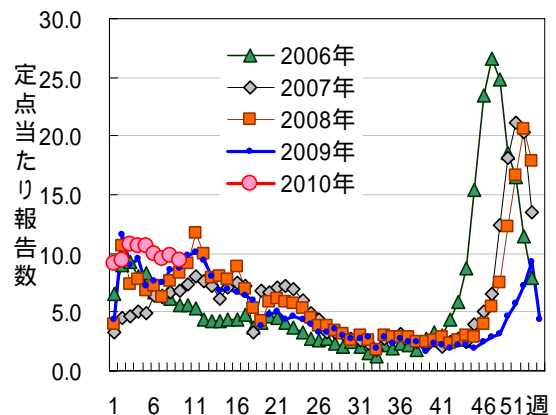


図3 感染性胃腸炎

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

感染性胃腸炎がやや流行。  
【一宮市 後藤小児科】  
マイコプラズマ感染症 6名。  
【一宮市 ささい小児科】  
マイコプラズマ感染症 7名。  
【一宮市 城後小児科】  
インフルエンザA型 2名。  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】  
RS、アデノ、A群溶連菌が目立ちます。  
病原性大腸菌とロタ様の胃腸炎も多いです。  
【犬山市 武内医院】

インフルエンザ6名(A型5名、B型1名)。  
B型は今シーズンはじめてです。  
感染性胃腸炎流行が続いています。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
RSも減少傾向。  
溶連菌感染症増えてきました。  
【岩倉市 なかよしこどもクリニック】  
感染性胃腸炎が再び多発してきました。  
【清須市 丹羽医院】

### 尾張東部地区

インフルエンザはなくなりました。  
溶連菌、突発症等感染症は目立ったものはありません。  
【尾張旭市 誠和会佐伯小児科医院】  
感染性胃腸炎は多く、溶連菌感染症が増えました。  
インフルエンザAは3名です。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
感染性胃腸炎続発中。  
RSV感染症、溶連菌感染症少々。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
A型インフルエンザはかなり減少しています。  
RSウイルス感染症は続いています。  
【春日井市 春日井市民病院】  
インフルエンザはほぼ終息したようです。  
感染性胃腸炎はロタウイルスが目立ちます。  
【小牧市 志水こどもクリニック】  
インフルエンザは2名でした。  
【小牧市 小牧市民病院】  
アデノウイルス感染症が増えています。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

感染性胃腸炎と水痘が多いですが、そのほかはこれといった感染症がありません。  
【春日井市 かがわこどもクリニック】  
19歳女 百日咳 抗体640倍。  
【半田市 医療法人林医院】  
インフルエンザB型 2名。  
【半田市 半田市立半田病院】  
B型インフルエンザ 3名。  
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】  
インフルエンザB 1名。  
【南知多町 医療法人大岩医院】  
プール熱、ロタウイルス腸炎出始めた。  
【美浜町 厚生連知多厚生病院】  
インフルエンザB型 1名(8歳男)。  
【東海市 東海市民病院】  
RSウイルス感染症 1名(2歳)。  
アデノウイルス感染症 1名(3歳、扁桃炎)。  
病原大腸菌O74 1名(9歳)。  
ヘルペス歯肉口内炎 1名(4歳)。  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

### 西三河地区

イムノカードRSV(+) 2歳男、4か月女、  
8か月女。  
*E. coli* (O18) + (O136) 28歳男。  
*E. coli* (O153) 3歳女。  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
インフルエンザB型 2人。  
マイコプラズマ 6人。  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
病原性大腸菌O18(+) 1歳女。  
インフルエンザは0例でした。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
6歳男 病原性大腸菌。  
溶連菌感染症が散見される程度です。  
その他特記すべきことはありません。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
アデノ(+) 1歳女、1歳男2名。  
4歳男 病原性大腸菌O126(+)VT(-)。  
7か月女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)。

【岡崎市 にいのみ小児科】  
インフルエンザは、すべてA型。  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】  
インフルエンザA型 1名。  
【岡崎市 粟屋医院】  
インフルエンザA型 1名。  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
感染性胃腸炎目立ちます。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザはA型。  
感染胃腸炎中 ロタ(+)1歳、1名。  
【刈谷市 田和小児科医院】  
感染性胃腸炎が多いです。  
【みよし市 みよし市民病院】  
感染性胃腸炎依然として流行しています。  
インフルエンザはA型1名のみ。  
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザA型が1名のみと激減しました。  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
 乳幼児の下痢はノロウイルス(+)が多くを  
 占めています。  
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

インフルエンザ A(+)です。  
 【豊川市 豊川市民病院】  
 マイコプラズマ患者 1人。  
 【蒲郡市 蒲郡市民病院】

全数把握感染症発生状況(愛知県全体・保健所受理週別) 2010年3月10日現在

ー 三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun080512.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun080512.pdf)

結核 (二類感染症)

報告保健所	2010年9週報告数			2010年累計(1~9週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	17	9	1	127	46	18
豊田市	2		1	11	3	2
豊橋市	1	1		13	5	1
岡崎市				15	5	
一宮	1	1		22	5	3
瀬戸	4	1	1	19	3	3
半田	1	1		11	1	1
春日井	1			16	4	
豊川				10	3	2
津島				10	3	2
西尾				7	2	
江南				7	1	2
新城				2	1	
知多	2	2		17	10	3
師勝				6	1	
衣浦東部				12	5	
合計	29	15	3	305	98	37

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	岡崎市	84歳	男	2/20	2/24	2/26	O157、VT1(+ )VT2(+ )
2	岡崎市	54歳	男	- / -	3/2	3/4	O157、VT1(+ )VT2(+ ) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）						
A型肝炎（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	豊田市	41歳	女	国内		
オウム病（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	名古屋市	53歳	女	国内		
ウイルス性肝炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	男	B型	性的接触	国内
急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病原体		推定感染地域
1	瀬戸	26歳	男	インフルエンザ AH1pdm[新型インフルエンザ(A/H1N1)]		国内
2	衣浦東部	6歳	女	インフルエンザ A型		国内
クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型		
1	名古屋市	76歳	男	古典型		
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	江南	41歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

愛知県感染症情報

2010年9週(2010年3月1日～2010年3月7日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
<b>愛知県 (名古屋市を含む)</b>	195	182	35	52	17	102	128	35	225	1,714	242	32	15	123	2	5	104	0	2	0	0	5	0
<b>総数 (名古屋市を除く)</b>	125	112	24	37	12	94	105	31	169	1,217	191	22	15	97	2	1	75	0	1	0	0	4	0
名古屋	70	70	11	15	5	8	23	4	56	497	51	10		26		4	29		1			1	
尾張東部	9	9	2	3	1	6	10		18	57	8			5			3					1	
海部津島	7	7	2	2	1	7	1	2	20	171	9	4		9			3						
尾張中部	4	4	1	1			2		3	28	2		4				2						
尾張西部	16	12	3	4	1	6	13	2	30	77	19		2	7			3		1			2	
尾張北部	9	9	2	3	1	28	20	14	19	130	38	11	2	10	1		15						
	6	6	1	2		6	9	1	20	77	7		1	5			3						
知多半島	6	6	1	2	1	4	6	6	7	81	10		1	5	1		1					1	
	7	7	2	2		5	1	3	4	97	6			1			6						
西三河南部	11	7	2	2	1		9		7	40	4			9			3						
	13	13	2	4	1	9	11	1	9	143	33	1	2	14			6						
	5	5	1	2	1	2	4		7	54	1	1		5			1						
西三河北部	9	9	2	4	1	9	16	1	15	53	16			7			4						
東三河南部	12	8	2	4	1	9	2		8	122	17		3	12			15						
	9	8	1	2	1	3	1		1	83	19	5		8			10						
東三河北部	2	2			1			1	1	4	2					1							

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2010年9週(2010年3月1日～2010年3月7日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	94	105	31	169	1,217	191	22	15	97	2	1	75	0	1	0	0	4	0
～6ヶ月	28				3	1			3			1						
～12ヶ月	18	2		2	44	4			51			2						
0歳																		
1歳	28	7	7	5	135	33	6	1	38	1		6					1	
2歳	13	5	4	9	105	28	5		4			2						
3歳	6	4	6	20	127	33	3		1			17					1	
4歳		11	5	27	129	33	5	4				11					1	
5歳		8	2	28	125	29	1	3				15						
6歳	1	13	4	31	103	20		3				11						
7歳		4		18	59	2		3				1						
8歳		8	2	7	69	3	1	1				5						
9歳		6		5	47	5												
5歳～9歳																	1	
10歳～14歳		15	1	14	102		1				1	3						
15歳～19歳		2			19					1								
20歳～				3	150							1						
20歳～29歳		6																
30歳～39歳		8																
40歳～49歳		5																
50歳～59歳																		
60歳～69歳														1				
70歳～																		
70歳～79歳		1																
80歳以上																		

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告